



地元イベント会場にて皆さんとともに



「地元の声を国政に!!」
住民の一人として、地元の代表として

街頭活動で熱弁

総務大臣政務官
鈴木じゅんじ

郷土の未来を皆さんと共に考える

鈴木じゅんじを助ます集い2009に
挨拶と決意表明



瀬戸市文化センターにて「安倍晋三・鈴木じゅんじ 時局講演会」が
行われ1500名もの支援者で賑った



寺山巨中氏に師事し、禅の修行のかたわら筆禅道を学び、また、その弟子の信夫浩気氏からは直心影流法定の手ほどきも受けた。同時期、展合道の修行にも汗を流した有段者。そんな経験が、今も尚鈴木の背骨を形作っている。

派手ではない。お上手も言えない。しかし鈴木への行動には心がある。それは、生涯をかけて、自らの納得する活動を求める姿勢からの帰結でもある。

「金も要らぬ、名も要らぬ、命も要らぬと言う男ほど始末に困る者はいない。しかし、こうした男でなければ、天下の大事は成せぬ。」……西郷が後世、山岡を評して語ったとされる名言である。

時代に合わない古武士然……しかし、それは逆に新鮮でもある。